

素晴らしかった習志野での3年間 —— ALTを終えて

エイドリアン・モリス（習志野市ALT）

私はエイドリアン・モリスです。タスカルーサから派遣された ALT（外国語指導助手）の一人で、習志野市の中学校で3年間英語授業の補助教師として働いてきました。

この期間 ALT として素晴らしい愛と喜びを体験することが出来ました。今まで自分の仕事を深く考えませんでした。実際に毎日英語教師と接して手助けが出来たことは喜びの一つです。

私は14年間スポーツをしてきましたが、野球が一番好きです。学校ではこの3年間課外授業のスポーツクラブに参加しました。実際の指導は主に野球とソフトボールでした。今までの経験を活かすことが出来ましたし、課外英語指導も出来ました。そんな中から人間関係が生まれ、英語を積極的に話す姿勢が彼

らに培われてきました。

3年間で振り返ってみて、各学校の生徒、教師から外国人としてではなく、一人の教師として接して頂いたと信じています。またそういう関係になれたことに感謝したいと思います。

また NIA 主催のマンデイチャットでは、会員の方と英語で会話を楽しみ、フライデーサロンでは季節のイベントを楽しみました。マンデイチャットではいつも、私の知らない日本文化を紹介してもらったことが大変勉強になりました。

NIA の皆さんと千葉ロッテマリーンズやオービック・シーガルの試合などを一緒に観戦できたのは楽しい思い出です。



習志野の思い出を語る
モリスさん



ハロウィーンのパーティで
会員のみなさんと